

1

JANUARY  
2021

# RONGO RONGO

DEPARTMENT OF C-C STUDIES

## 2021 年を最高の 一年にするために！

何事においても復習ってやっぱり大事。新年一発目の RONGO で  
去年の注目コンテンツをおさらいしましょう！

## TOPICS

正月らしく漢詩などいかが？

### K-POP と朝鮮通信使 染谷智幸

コロナ禍の 2020 年度、後期デビューの本音に迫る

### 1 年生の声

今だからこそその試み。新オンライン講座の最新リポ！

### インドネシア語講座 初級編

Ｃ科学生、自己変革の海外留学体験をつづる

### 天津師範大学留学記

身近なグローバル、外国人児童の日本語教育支援

### 放課後ボランティア

オンラインプロジェクト第 3 弾！

### リアウ大学オンライン交流会

はるばるベトナムから！留学にかける熱意とは？

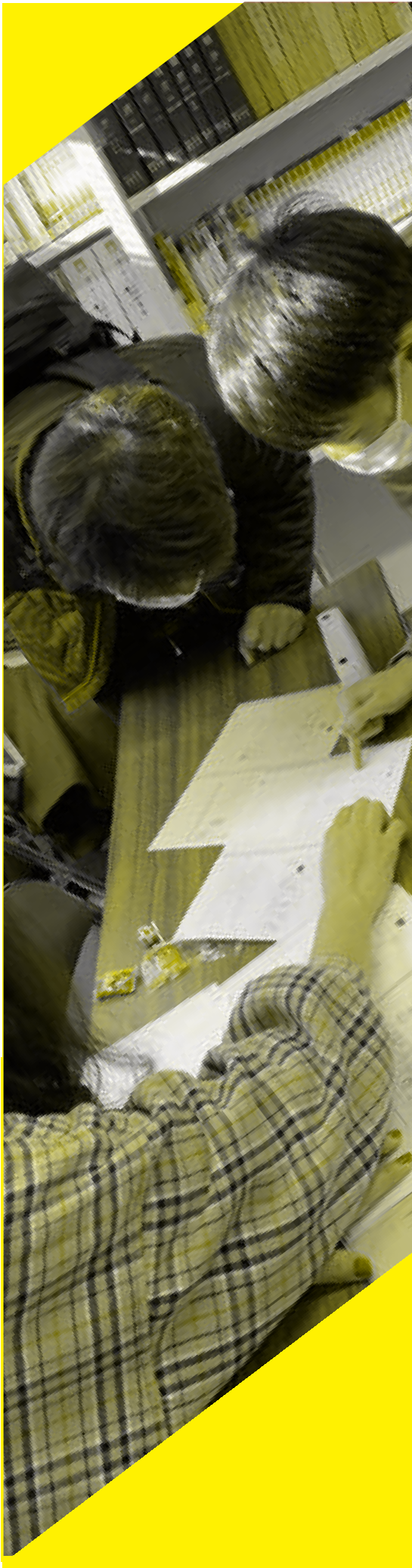
### 留学生紹介 feat. ヴィさん

シリーズ「授業を語る」第一弾

### 日本語教師にならずとも 中山健一

### RONGORONGO とは？

茨城キリスト教大学文学部 文化交流学科の広報誌です。  
学生が中心となって年 2 回発行しています。





# 染谷智幸朝鮮先生特集 K-POPと通信使

染谷智幸先生

文化交流学科主任。専門は日本の近世文学、日韓比較文学。本年度は「アジアの映画」、「日本文学」「特別演習B」等の講義を担当されています。

明けましておめでとうございます。昨年は未曾有のコロナ禍で、身動きが取れませんでした。特に、学科では文化交流体験が中止になったのが残念でした。予定していたのは韓国で、ソウルの明知大学校、ソサンの韓瑞大学校への訪問を企画していました。今年は再チャレンジということで、韓国行きを予定しています。多くの学生の参加を期待しています。

さて、その韓国ですが、日本との間では政治や歴史の問題ではちょっとざわついていますね。心配する向きもありましょうが、この日韓、お隣で付き合いも長く、今までも色々ありました。関係の悪い時もあれば良い時もたくさんあったんですね。私の専門の江戸時代（韓国では朝鮮時代後期）はとても良い関係でした。

たとえば、朝鮮通信使というのがあって、朝鮮から江戸時代に十二回ほど友好使節が来ています。そこでのやり取りが素敵です。たとえば、その十一回目に来日した成大中（ソン・デジュン）という朝鮮の方が木村兼葎堂という日本人の蔵書を誉めて、

**暖花春満著書房 暖花春満つ著書の房（素晴らしい蔵書に暖かい春が満ちている）**

という漢詩を詠むと、細合半斎という日本人が、

**回舟傳好事、人尙在菰蘆 回舟好事を傳へよ、人はなお菰蘆に在りと**

（船で朝鮮にお帰りにになったら、優れた人材が美しい水際にいらしたとお伝えください）と応えました。どうです、実に伸びやかでゆったりとした交流ではないですか。我々も見習いたいところですが、今の若い方々はK POPや韓流ドラマ等ですいぶんと心が通っている様子ですから、私も安心してます。より一層、交流を深めましょう。（正月らしく漢詩などを披露しました。たまには良いですよえ。）

【編集：安藤】

## 1年生の声

今回の記事を書くにあたり、文化人類学の授業内でアンケートをさせていただきました。

内容は「後期に大学に来るようになって、今の感想や不安に思うことなど何でも書いてください」といったものでした。

協力してくださった方ありがとうございました。全てを紹介することは出来ませんが、ここでは、後期になって良かった事と、不安や大変に思っている事に分けていくつか紹介したいと思います。

はじめに良かった事。勉強面では、「課題が少なくてうれしい」「前期は授業で考える時間があったけど1人だったが、後期は周りの人と交流できるので勉強が前期より面白い」などといった回答が。課題が少ないのは確かに嬉しいですね。また、パソコンに向かって授業を受けるよりも対面の方が楽しいと感じた人が多いようです。

また、勉強面以外では友達ができて嬉しいと回答した方が圧倒的に多かったです。これから友達を作ってキャンパスライフが充実したものになると思いますね！

アンケートのご協力ありがとうございました

次に、不安や大変に思っている事。授業に対しては、「いきなり90分も拘束される授業は少し疲れました。まだ慣れないです」との回答が。高校生までは90分の授業はないですね、集中力を持たせるのが大変です。

また、「始まったのは楽しいけれど、友達が出来るか不安」といった、友達作りを心配する人もいました。確かに、授業だけでは友達を作りにくいように感じます。

ただ、一番多かったのは、「1限の時間に起きられないですしんどいです」「前期は授業直前まで寝られていたので朝がしんどくなった」など、朝が辛い！！といった声です。学校に遅刻せず来るために、オンラインの時とは違った生活リズムを身につけたいですね！

【編集：北菌・白土】

# インドネシア語講座

今年の秋、Zoomで開催された「インドネシア講座」について取材してきました。オンライン講座はコロナ禍ならではの新しい試みですが、実際のところどうなのでしょう。

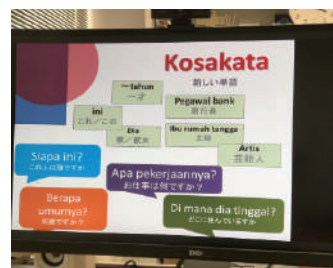
## ●インドネシアとは

インドネシア共和国 通称インドネシア。東南アジア南部に位置し、東西に非常に長く世界最大の島嶼を抱える島国。

島数は約 17000 ととても多く、人々が生活している島でも約 9000 にも及ぶ。世界人口はなんと約 2.55 億人と世界第 4 位を誇る多民族国家である。

## ●インドネシア講座

10 月後半～ 11 月上旬に全 4 回。オンライン上で開催された。会議アプリ「Zoom」を使用し、実際にインドネシアの「リアウ大学」と同時双方型授業を行った。講義内容は主に「インドネシア語の日常的な挨拶」や「学校で使われる挨拶」、「ものの名前」、「数字の数え方」など、初級程度の内容であった。



▲実際の講義内容のスライド

## 実際に受講してみよう C 科学生へのインタビュー

今回、インドネシア講座に参加した C 科の学生 (N さん) は「インドネシア語は今まで触れてきたどの言語とも違っていきそうだなと思いながら参加したら、英語とドイツ語に似ている部分が半々くらいずつあり驚いた。現在日本語教育について勉強しているため、今回自分が『外国人から外国語を教わる』という立場に立つことが出来たのは良い経験になったと思う。相手が何を言っているのかさっぱりわからなくても、教材次第でやりたい活動内容は伝わる (理解できる) ことが分かった。今回の経験を今後実習に活かしていけたら良いと思った」と感想を述べてくれた。また、このような講座があったら参加したいかどうか尋ねると「現地の人や母語が違う人と会話できるのは大きな魅力だと思う。また参加したい。」とのことだった。

コロナ禍の今、実際に海外に行くことは難しいが、今回のように現地の大学とオンライン授業が出来るのは非常に良い機会だと感じた。

【編集：佐藤】

## 天津師範大学 留学記



茨城キリスト教大学には 31 か所の海外提携大学があります。今回はそのなかの中国・天津師範大学に留学していた文化交流学科 3 年の夏井彩名さんにお話を伺いました。

【編集：石田・田所】

私は中国天津市にある天津師範大学という学校で二年生の後期分の授業を受けました。学ぶ内容は基本的にテキストを使用し、先生の解説を聞くというものでした。学習についていけなくなってしまわないか心配でしたが、わからないところは先生や友人に聞くとみんな親切に教えてくれてありがたかったです。

学習ももちろんそのために行くので大切ですが、半年間近く留学に行くということはただ言語を学ぶだけではなくそこの生活も非常に重要になってきます。天津師範大学には基本的に留学生寮という様々な国の人たちが暮らす寮があるのでそこで生活することになってきます。

寮ではベトナム、ポーランド、スコットランド、韓国、マリ、ロシアなど様々な出身国の人と交流することができて毎日が新鮮で非常に楽しいです。言語は基本的に英語や中国語で大丈夫なのですが、正直私はかなり発音がかたがただったので円滑なコミュニケーションをとる

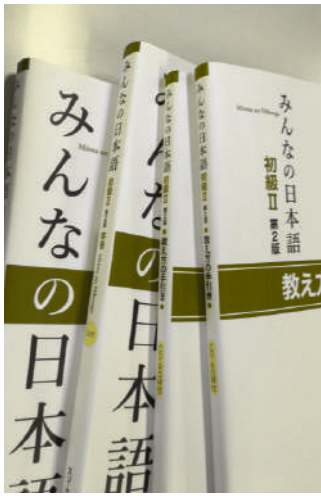
ために少し苦労しました。

週末には中国でできた友人と伊勢丹などの大きなデパートに映画を見たり食事に行ったり遊びに行ったり、天塔や天津古文化街といった観光地に行ってみたりして過ごしました。街を一望できるくらい高い天塔に夕陽が沈むタイミングを狙ってカメラを携帯し友人と登ってみたり、古文化街で中国の伝統的な商品を購入したり、「天気の子」や「コナン」といった日本の映画を中国語の字幕付きで見たり、その国でしか堪能できないことをたくさんやれて非常に充実した毎日だったと思います。

実際に行ってみることで自分の認識はかなり変わったと思います。インターネットで得た情報と実際に行ってみるとでは全く感じ方も違うし、そもそもインターネットに載っている情報がすでに古い場合が多かったです。この体験を通して自分はいままでよりも大きく成長できたのではないかなと思いました。

# 放課後ボランティア

グローバルとローカルをつなぐ小さな架け橋



日立市内の小学校には、通常学級で学ぶ外国籍の子供がいます。毎日を過ごす中で基礎的な日本語を学ぶ場がないため、週に一度、C科の学生が日本語の授業を行っています（金曜4限「特殊講義A」担当：宮崎晶子）。10月30日の授業内容は「おかいものしかた」で、「個」と「本」の数え方、お金の数え方などを、コミュニケーションをとりながら実践形式で学んでいました。現状、日本語のサポートが必要な子供を支援する仕組みは遅れ気味です。日立市内の小学校では、市から週一回日本語のボランティアがくることと、上記の授業をメインのサポートとして補っています。

これからの義務教育の現場には、子供の情緒面・知的面をサポートする専門の先生だけでなく、外国語としての日本語を教えられる人材が必要になってくるのだろうと感じました。

【編集：沼崎・渡邊】

### 3年 徳光朗

私は特別演習で日本語教育を行い、学習者の年齢で教え方が大きく変わるということを学んだ。

大人の学習者が日本語を勉強する場合、文法など細かく考えながら学習していくが、小学生に日本語を導入する場合、コミュニケーションが取れるようになることが第1の目標であると考え、アクティブラーニングを多く取り入れるように心がけた。パワーポイントなどで文法をメインにしていた時よりも食いつきがよくなり、あくびの回数も減ったので「楽しんで日本語を覚える」ということを大切にこれから頑張っていきたい。

### 3年 関香杜沙

「何回目でも慣れない」私が活動をしていて思うことです。授業前はいつも不安と緊張でいっぱいになり、ソワソワしています。しかし授業を始めるとそんな暇はありません。頭をひねり絞り出してきた日本語に関心していると飛んでくる予想外の返答、予定通りに授業が進んだことは正直ありません。

しかし、寄り道しながら進める授業こそこの活動の醍醐味であり、新しい発見や文化交流に繋がっています。互いが「新しい」に触れられる時間を大切に、楽しみながら活動していきたいです。

### 3年 高橋雅斗

今回の講義では留学生や外国人小学生に教えるのでかなり勝手が違った。講義で習ったことを実行しようとしても、日本語の癖が抜けずに難しい日本語を使ってしまうことが多く授業案を考えていってもその通りに進まないこともあった。

しかし、回数を重ねるごとに工夫したほうが良い場所や日本語の選択が自然とできるようになり柔軟に対応して乗り切ることができるようになった。これからもトラブルがあると思うがそれも楽しみながら頑張っていきたい。

## 参加学生の声

本ボランティア授業に参加している学生たちの感想を聞いてみましょう。

### 3年 中村ひかり

この授業では小学2年生の外国人児童に日本語を教えているため、内容が分かりやすいことはもちろん児童が飽きてしまわないような工夫が必要だと学びました。飽きさせないように絵やイラストだったり、円や1個2個などの助数詞を教えるときにはお店を再現してお買い物ごっこをさせたりするなど動きのある教材を用意し、授業の流れを考えるのは大変です。

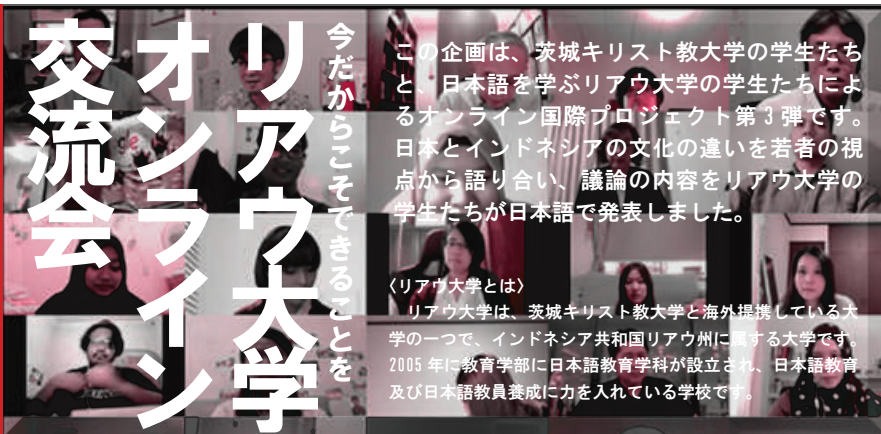
ですが、試行錯誤するなかで前回よりも良い授業ができたときや学習者が楽しそうに授業に取り込む様子を見るとやりがいを強く感じる事ができます。

### DANG THI THUY VY (ダン ティ ツイ ヴィ)

日本に留学する前、ベトナムで子供に勉強を教えるアルバイトをしていたことがあります。日本語を教えるのは初めてですが、日本の学生と外国の子供と一緒に教えることはとても楽しい経験です。私たちが今教えている子供は、最初は日本人の友達もいないし、全然日本語が話せなかったそうです。でも今は日本語も慣れてきたし、自分から私たちに話してくれるようになりました。私は日本語の勉強はまだまだですが、日本語を勉強するときどんなところが外国人に難しいかは体験して知っています。その体験は外国人児童に日本語を教えるときに役に立っていると思います。

### 3年 齋藤壮良

私が小学生の時、外国人児童に話しかけたが日本語が伝わりませんでした。コミュニケーションにおいて言語の壁は大きいと感じました。日本語がわからない外国人児童に楽しくわかりやすく教えるために実物や絵を使った授業案の作成することは大変だが学習者が理解してくれるとやりがいを感じ自分自身も成長していると感じています。この授業がきっかけで日本語を話すことが楽しくなり、日本人の友達と自由に話せるようになれば良いと感じました。



# オンライン 交流会

今だからこそできることを

この企画は、茨城キリスト教大学の学生たちと、日本語を学ぶリアウ大学の学生たちによるオンライン国際プロジェクト第3弾です。日本とインドネシアの文化の違いを若者の視点から語り合い、議論の内容をリアウ大学の学生たちが日本語で発表しました。

〈リアウ大学とは〉

リアウ大学は、茨城キリスト教大学と海外提携している大学の一つで、インドネシア共和国リアウ州に属する大学です。2005年に教育学部に日本語教育学科が設立され、日本語教育及び日本語教員養成に力を入れている学校です。

## ■開催時のスケジュール

- ①開会式
- ②個人発表
- ③グループワーク
- ④リアウの学生によるスピーチ

個人発表のテーマは「流行」「宗教や文化」「コロナウイルス」など。グループワークでは交流を深めつつ、スピーチ練習も行いました。リアウ大学の学生によるスピーチでは、各チームの代表一名がグループワークでの活動をもとに発表しました。優秀者には豪華景品もあったとか？

## 学生インタビュー

# 交流会どうだった？

## ■友だちみたいに楽しく交流できました

4年 高藤 千晶

今回の交流会はZoomで行われるという、最近の流行を取り入れたものでした。当日は、数人に分かれてインドネシアと日本の身近な違い等について話しました。私のグループは日本人3人、インドネシア人3人でした。思っていたよりスムーズに会話することが出来ました。

最近好きな事を話した時、向こうの学生がZoomについて熱弁してくれて、私達が勉強させられました。勿論二カ国間の違いについても話しましたが、同じ年の学生とお喋りしている感覚の方が強かったです。彼等の日本語能力の高さに驚きました。

Zoomを使ったので手軽に、楽しく交流できました。今後もこのような機会があればいいと思います。

## ■騒ぎが落ち着いても続いてほしい企画

3年 徳光 朗

今回、オンラインプロジェクト第3弾のリアウ大学との交流会に参加して、初めに画期的なイベントだなと感じた。私は今、日本語教育について学んでいる最中なので、日本語を勉強している学習者との交流の場は非常に貴重な体験をすることができた。

世界中で大問題となっているコロナウイルスがきっかけで、オンライン飲み会などのようにインターネットを活用したものも多く生まれている中でのこの活動だったので、コロナウイルスがあったからこの企画をするのではなく、オンラインならどこにいる人ともつながれるという面を大切にしてこの騒ぎが落ち着いてからもこのような企画はあり続けてほしいと思った。

# オンライン交流会は今後も続々開催予定。 今しかできない国際交流を楽しもう！

## ■現状を逆手に、国際交流を楽しみましょう

地域・国際交流センター長 岩間信之

交流会では、本学とリアウ大学の学生たちが、宗教と生活、コロナ (COVID-19) と生活、若者の最新文化を紹介してくれました。どちらの発表も創意工夫に富み、大変面白かったです。また、小グループに分かれて国際交流を楽しみました。オンラインではありませんでしたが、楽しいひと時を過ごすことができました。

これまでに、韓国、フィリピン、インドネシア、アメリカ、ウクライナの大学と、オンライン交流会を実施しました。詳細は未定ですが、2021年2月以降には、ベトナムやキルギス、イタリヤなどの提携校と交流会を行いたいと考えています。

オンライン交流会は今後も継続していく予定です。コロナ禍を逆手にとつて、国際交流を楽しみましょう。

【編集 徳光・鶴川・長山】



## ICグッズ、 無料配布中！

地域・国際交流センターでは、各種ボランティア活動に参加する学生 (ICバディ) に無料で配布するICグッズを取り揃えています。

ぜひこれらのグッズを身に付けて、地域貢献活動や国際交流活動に参加してください！

# 留学生 紹介

今年は感染症が流行りとても大変な一年でした。そんな中、本学に学びに来てくださった留学生の皆さんありがとうございます!!今回はその一人であるヴィさんにお話を聞かせていただきました。【編集：菊池】



## 一 まずはじめにお名前を教えてください。

ダン ティ ツイ ヴィ  
DANG THI THUY VYです。

ベトナム、ホーチミン市、フフリット大学から来ました。

## 一 現在ウイルスで大変な世の中ですが、ヴィさんはどんな風に過ごしていましたか？

去年、一年間の予定で茨城キリスト教大学へ来ましたが、半年が過ぎたころに、コロナがどんどん広がってきて、心配した両親から帰国するように言われ3月初めにベトナムへ一時帰国をしました。

その時、勉強もできないし、もう帰国してしまっただし、このままベトナムに残って、この状況でできることをするしかない、と自分に言い聞かせました。本当に大変でした。

## 一 一度ベトナムに帰国されたんですね。

はい。でも、やり残した半年間の留学期間をあきらめたくないという強い思いがあって、日本政府が発表する再入国に関するニュースがいつも気になっていました。

やっと在留資格を持っている外国人の再入国を認めるという、待ちに待ったニュースが流れてきました。しかし、PCR検査のことや2週間の隔離政策のホテルのことなど、いろいろな準備をしなければなりません。

日本の友達にベトナムを紹介して、文化交流したいです。

## 一 日本の中で行ってみたい場所がありますか？

行ってみたい場所はいっぱいあります。大阪の通天閣やユニバーサルスタジオジャパン、海遊館などへ行行ってみたいです。古くて綺麗で、都のような京都へも旅行しにいきたいです。

## 一 自分の国のおすすめの場所を教えてください。

北部、中部、南部と大きく分かれ、それぞれの地域に特徴があります。それだけではなく、54民族がある国であるので言語も54種類あります。民族の風俗はとても面白く、特に衣服は特徴的です。

また、フランスに統治されていた時代があり、主要都市のホーチミンには当時の面影が残っています。ほかにも、世界遺産に登録されている古都や、アジア有数のリゾート地など、訪れる人を楽しませてくれる場所が豊富です。私がみなさんに一番気に入ってもらえると思うのはずばり、料理とコーヒーです。

## 一 最後に一言お願いします。

外国人はベトナムの人を、“フレンドリーで、気前が良く、呑気”と評価しているようです。基本的に、ベトナムは値段も安くて、親切な国なので、行きがいのあるところです。できることなら、国際的な友達、特に日本人にも文化交流としてベトナムのことをもっと紹介したいと思います。

## コロナ禍の入国事情

コロナ禍の入国はやはり大変だったようで、ヴィさんも大分苦労したみたいです。幾度にもわたる厳正な手続きやPCR検査をしなければならなかったり、2週間の隔離期間中はホテルで一人で生活しなければならなかったり…

隔離中はほぼ毎日、ベトナムから持ってきた即席めんしか食べられなかったらしく、それが特にきつかったみたいです。毎日即席めん、想像するだけできつそうです…



# 授業を語る。

今回は日本語教育に関する授業を多く受け持っていたらっしゃる中山先生にインタビューを行いました。先生の講義はいずれも興味深くおすすめです。ぜひ来年度の受講の参考にしてみてください。

## Q1. 日本語学と言語学の違いとは？

「日本語学」はスローガンふうと言えば「自分、再発見」。当たり前のように話せて毎日使っている日本語の特徴を、学問的な視点、先入観のない独りよがりでない視点から観察する授業です。自分の母語なのに、実は何も知らなかったんだ！という発見の連続です。

「言語学」はスローガンふうと言えば「意外と実学」。人間の言語とはそもそも何なのか？という問いをはじめ、言語学の考え方を学びますが、個人的に言語学は「実学」だと思っています。言語学の考え方を身につけると、外国語を学んだり、外国人とコミュニケーションをしたりするときに役に立つからです。

## Q2. 学生へ一言お願いします！

万人受けする授業内容でないですが、興味がある人にはおもしろいと思えます。日本語教員資格をとっていない人も大々々歓迎です。あと、課題が多いのが嫌な人はやめたほうがいいです。

【編集：石田・田仲】



中山健一先生

日本語学、言語学など、日本語教員資格にまつわる講義を担当。中山先生の授業は課題が多いらしいです。

2020年は家にこもってばかりの1年だったので2021年は外に出ているいろいろなことを体験し、経験を積みたいです。【渡邊麻由】

昨年は、はじめてオンライン授業を行ったりと、新しいことに挑戦する機会がたくさんありました。今年はそれに留まらず、新しいことを積極的に経験しにいきたいと思います。【菊池和花】

去年は海外に行く予定でしたが、コロナの影響で叶うことが出来ませんでした。今年は絶対に行けることを願って勉学に励みたいです(^▽^)

【佐藤凜】

## 後編集記

あけましておめでとーございます。今号は新メンバー盛りだくさんで送りました。今年も何卒よろしくお申し込み申し上げます。

昨年の目標は海外旅行でしたが、やむなく断念。早く終息してほしいですね。ロンゴロンゴに携わるなど、自分なりに新しい経験ができた点はよかったです。【沼崎愛華】

昨年の抱負は韓国や台湾に旅行することでしたが、こんな状況でそれも叶わず…。渡航再開に向けて、韓国語の勉強に励みました。気軽に海外旅行したいですね。【田所華穂里】

今だからこそできることをたくさん積み重ねて、糧にして、めげずに進歩していきたいですね。未だ未曾有の状況が続きますが、お互いに頑張りましょう。【小岩美帆】

# 募

編集部員  
リクエスト  
etc.

## RONGO ではあなたの声を募集中！

雑誌編集が気になるあなた、一緒に RONGO を作ってみませんか？  
取り上げてほしい話題のあるあなた、記事リクエストしてみませんか？  
長いようで短い、あっというまの学園生活。

ここいらでひとつ、“ならでは”の思い出作りなんてどうでしょうか？

お問い合わせは [rongorongo.ic@gmail.com](mailto:rongorongo.ic@gmail.com)、または11号館鈴木晋介研究室まで。

